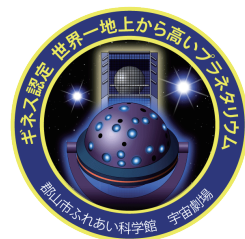


2022年

7月▶8月の星空



この図は

7/ 1 ▶ 22時

7/15 ▶ 21時

8/ 1 ▶ 20時

8/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は8月1日)

○1等星

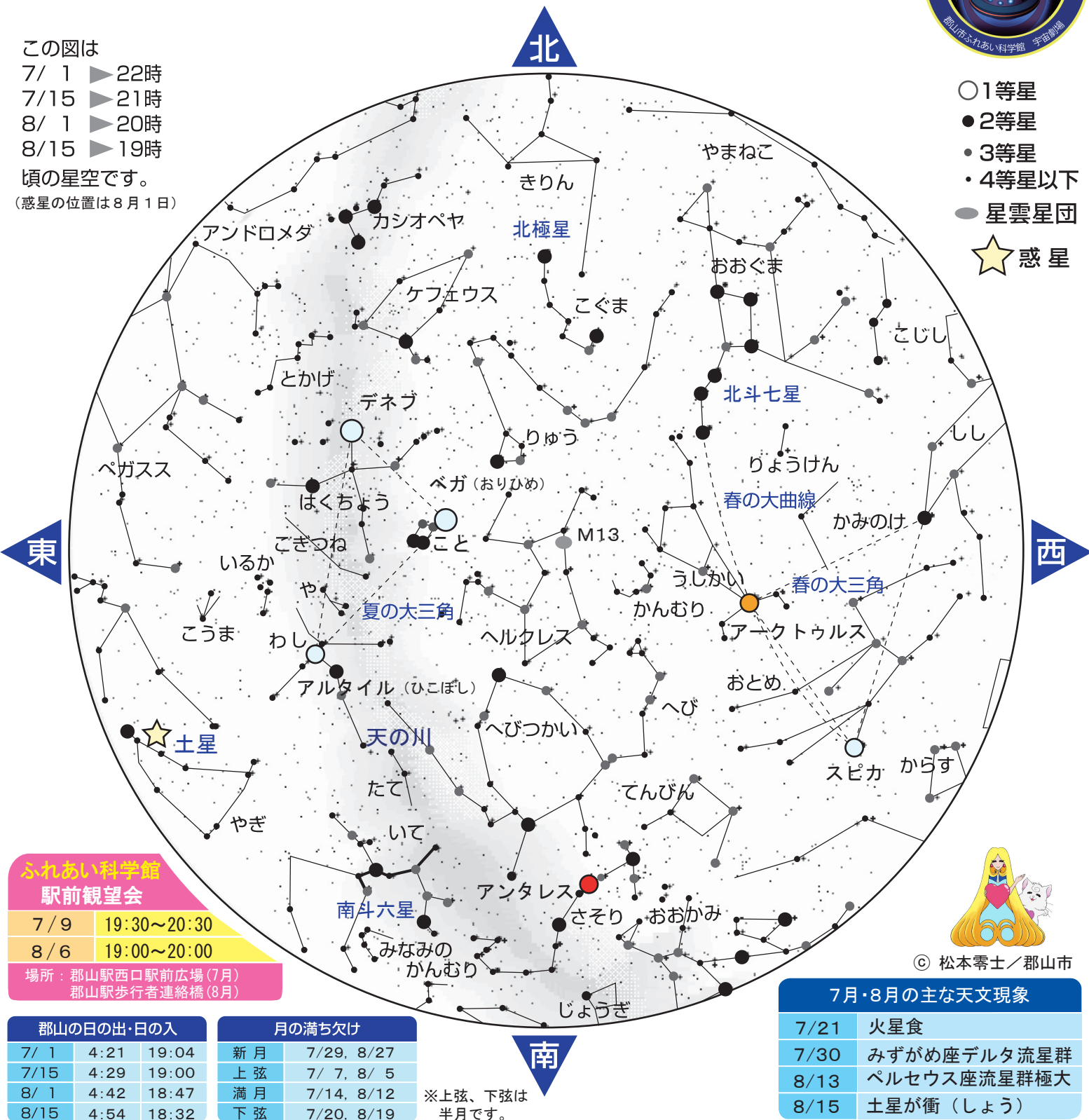
●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

★惑星

ふれあい科学館
駅前観望会

7/ 9 19:30~20:30

8/ 6 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場(7月)
郡山駅歩行者連絡橋(8月)

郡山の日の出・日の入

7/ 1 4:21 19:04

7/15 4:29 19:00

8/ 1 4:42 18:47

8/15 4:54 18:32

月の満ち欠け

新月 7/29, 8/27

上弦 7/ 7, 8/ 5

満月 7/14, 8/12

下弦 7/20, 8/19

※上弦、下弦は
半月です。

© 松本零士／郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/21 火星食

7/30 みずがめ座デルタ流星群

8/13 ペルセウス座流星群極大

8/15 土星が衝(しょう)

空を広く使って輝いていた春の星たちが西へ傾き、夏の星が昇ってきました。こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」の3つの1等星を結んでできる「夏の三角」を探してみましょう。ベガは織姫、アルタイルは彦星で二人の間には天の川が流れています。天の川に沿って双眼鏡や望遠鏡を向けてみると、視野いっぱいの星々を楽しむことができます。天の川を南下して南の空の低いところにはさそり座の「アンタレス」の赤い輝きが目に留まります。さそりのしっぽからいて座の弓のあたりが天の川の中でも特に明るい部分です。そして、その中心には今年の5月に画像が公開され話題となった銀河系中心のブラックホール「いて座A*(エースター)」があります。

7月の下旬からは明け方の空を賑わせていた惑星たちが深夜の空や宵の空に見え始めます。7月21日の深夜~22日にかけて東の空の低いところで火星が月に隠れる「火星食」が起こります。郡山では23時37分に月に火星が隠れ始め、0時19分に出現します。また、土星は8月15日に衝(太陽-地球-惑星の順で直線状に並ぶこと)となるため、8月中はほぼ一晩中観察することができます。望遠鏡で見ると傾いた環を見ることができ、夏休みの観察におすすめです。近くの木星と併せてお楽しみください。

